

いまからはじめる第10期介護保険事業(支援)計画策定準備

【簡易版】点検ツールの活用しどころ

2025年9月
(株)日本総合研究所

1 地域のビジョンの共有と分野横断的・統合的なマネジメントへ

地域のビジョンや目標を改めて検討する

- これまで、高齢者・介護部局が中心となって、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みが行われてきました。しかし、これからの少子高齢化のさらなる進展や地域ごとの事情も踏まえると、各分野・領域を超えて共有できるよう、全体最適化の観点から機能性を高める取り組みが不可欠です。
- もとより地域包括ケアシステムを構成する社会資源や体制等は、それらが相互に連携することで大きな効果が期待されるものです。地域包括ケアシステム構築の節目となる2025年を迎えようとする現在、「わがまちの地域包括ケアシステムとは」を改めて見直し、地域のビジョンや目標を再度明確化することが大切です。

2 資源や事業の整備から、機能性の発揮への転換

全ての社会資源や体制等を最適化し、効率的に繋ぐことが重要

- 社会資源の整備のみならず、既に地域にある社会資源や体制を工夫して改善し、その機能性を高めることこそが、地域づくりの基本的な方向となります。このため、『保険者』としてだけでなく、全庁的な体制を含めた、『自治体』としての状況の点検・評価が重要です。
- したがって、地域の総合計画等との整合性を図りながら、「ビジョン」を起点に、関係部局とも連携の上、政策・施策・事業のあり方を考え、ひとつひとつの取り組みの成果が上位の目標にどのように貢献しているか、さらに効果的なものとするにはどのような工夫があり得るかを振り返る必要があります。
- 本ツールは、上位目標に照らして施策・事業の位置づけを振り返り、施策・事業を「機能性(=目標とすべき状態の実現に資するように機能しているか)」に着目して見直す視点を提供します。

【簡易版】点検ツール

テーマ:				
① 目指す姿	【(テーマ)】について、どのような姿を目指しているか、具体的に記載してください。			
② 取組の洗い出し	③ 実現状況の仮評価	④ 情報の整理	⑤ 取組の見直し	
現在行っている取組の目的・内容 行っている取組(目的・内容)をできる限り記載してください。	目指す姿に対する実現状況(仮評価) 地域の強み・できていること 関連する地域の強みや、これまでに把握・整備され、活用できる地域資源や活動をできる限り記載してください。	知りたいこと 解決すべき課題(ポイント)の絞込や施策の改善にあたり、知りたいことを記載してください。	特に解決すべき課題 ステップ④までをふまえ、特に解決すべき課題(ポイント)を記載してください。	
取組に期待している成果 上記の取組を行うことによって、目指す姿にどのように近づくと期待していたか、記載してください。	解決すべき課題(案) 目指す姿と実現状況(仮評価)に乖離が生じている要因として、考えられる課題を全て挙げてください。	調査等により分かったこと 上記の知りたい情報等に関して、関連するアンケート調査やヒアリング等から、分かったことを記載してください。	取組の改善方策 上記の課題解決に向けた ①事業の組み立ての見直し案 ②実施方法や運営上の工夫案 ③他施策等との連携を高める改善方策案を記載してください。	
			目指す姿の実現状況の評価方法 上記の見直しをふまえ、目指す姿に対する実現状況をどう評価するか、記載してください。	

日本総研のHPから
様式入手できます！



【簡易版】点検ツール
(MS-Excel形式)

- 策定委員会にこれまでの取り組みの総括を示したいが、何から考えたら良いか、見当もつかない・・・
- いまの事業をそのまま続けていくのは難しいでも、どう見直したらよいのか分からず、戸惑う・・・
- 各事業の担当課や外部との連携が大切なのは分かるが、計画策定に向けて、何から手を付ければ良いのか・・・



考え方、捉え方を工夫してみませんか？

地域が目指そうとする姿は何か、
その実現に向けて解決すべき課題は何か、
課題の解決につなげるにはどのように施策や事業を組み立てたら良さそうか。

そして、誰と話したらそれらのヒントが得られそうか。

目的から考えて整理してみると、モヤモヤが解けるかもしれません。
本日のセミナーや点検ツールをぜひお役立てください。